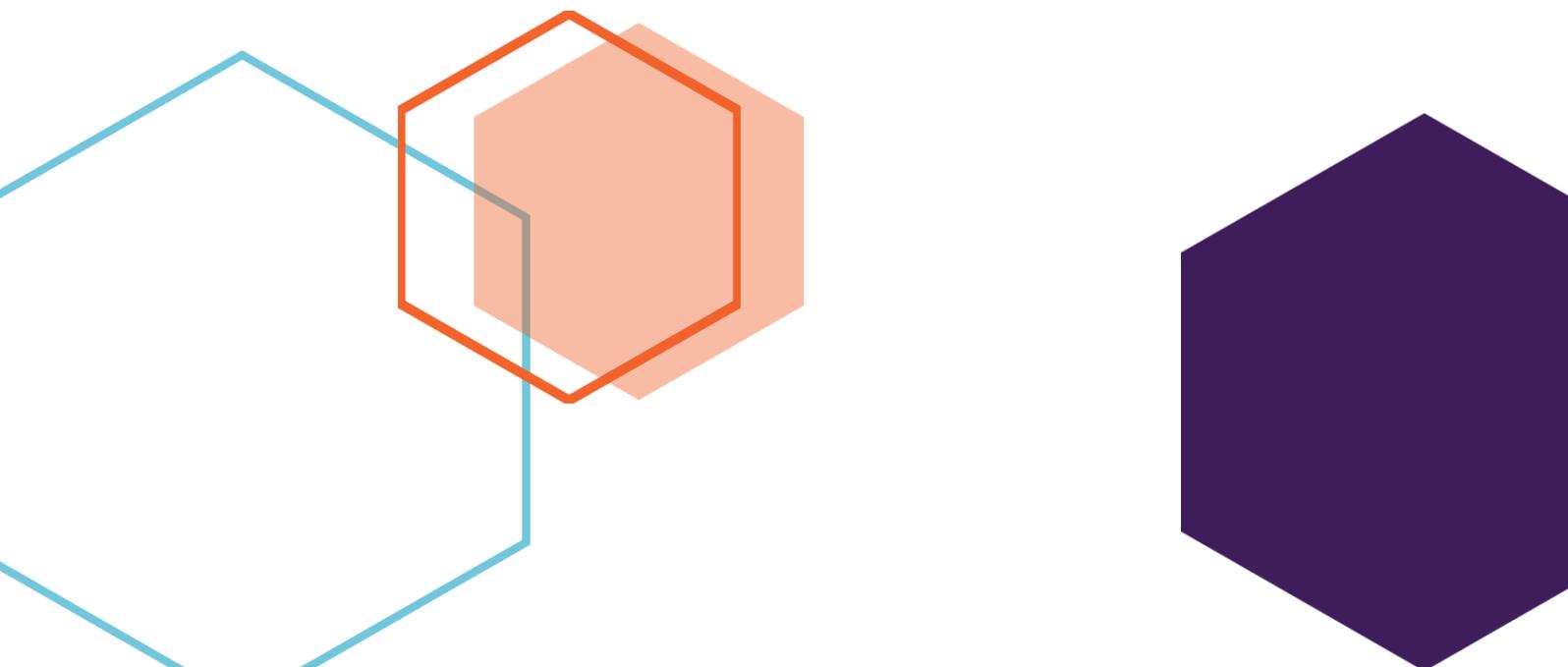


# 資料3



## [第6次基本構想骨子] (案)

- ・基本構想の計画期間は、令和3年度を初年度とし、令和22年度を最終年度とする20年間
- ・基本計画の見直し等に合わせ、検証、令和12年度に中間見直しを予定
- ・基本構想は、**市民が目指す（求める）** ありがたい“まち”の姿（未来都市像）を定めるもの。





# 「充実した日々が、ここにはあるよ 富士見」

～あざやかな毎日～

## 1 未来都市像（ありたい“まち”の姿）

○楽しく暮らせるまち

○心おだやかに暮らせるまち

○居心地よく暮らせるまち

## 2 基本方針

### ●実りある“人生”

- ・他者から必要とされることで生きる力を得るとともに、日々自らの成長を感じることができる、生きがいにあふれたまちを目指します。
- ・精神的にも、経済的にもゆとりのある、心身ともに健康で、笑顔や愛にあふれるまちを目指します。

### ●充たされた“つながり”

- ・世代、国籍、地域などに拘らず、多様な関係でつながれるまちを目指します。
- ・あいさつをはじめとしたコミュニケーションをベースに、周りの人を思いやり、助け合える関係が持てるまちを目指します。
- ・多様性を受け入れる風土と、緩くともしっかりとしたつながりのあるまちを目指します。

### ●充実した“環境”

- ・富士見市の緑豊かな自然を財産とし、住みやすい都市（まち）として発展していくことで、都心では叶わない、「富士見市ならでは」が実感できるまちを目指します。

## 3 キーワード

**調和 ・ バランス ・ 愛**

## 基本構想の考え方

### ●実りある“人生”

人との調和による新しい生きがい・自身の発見を促し、楽しい暮らしを実現

### ●充たされた“つながり”

人と人の適度な距離のバランスを保ち、家族を土台に地域とも笑顔や愛でつながり、心おだやかに居心地のいい暮らしを実現

### ●充実した“環境”

緑地・農地・住宅地など開発と保全のバランスが取れ、生活しやすい環境を構築

緑があることにより、心穏やかな暮らしと、緑とのふれあいで楽しい暮らしを実現

### ○社会情勢の変化に対応

通信技術に代表される未来技術を活用し、ありたい“まち”につなげていきます。

人口減少が進むと見込まれる将来において、これまでの延長だけでない新たな視点をもって対応します。

### ○未来都市像の実現の前提

未来都市像の実現のためには、安心・安全が確保されていることが不可欠です。